

# 定例公安委員会開催概要

## 1 開催日

令和3(2021)年1月20日

## 2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

### ■全体会議

#### 【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「最近読んで印象に残った本について紹介したい。トランプ大統領が登場した4年の中でグローバリズムが覆されて、反グローバリズムの世界が一気に広がったわけであるが、これに対して外部と繋がるのが、個人、会社、組織にとってもプラスになることが多いということで、その反グローバリズムに対する反論を展開している内容の本である。様々なデータを駆使して、実証的な反論を行っており非常に興味深い。例えば、組織の中で給料の高い人間というのは、様々なネットワークを持っていると実証されている。また、個人が色々なところと繋がることによって、情報が豊かになったり、知恵を働かせるベースになったり、或いは色々な技術を身に付ける機会になると言っている。また、ある信用調査会社のデータを分析したところ、県内で商売をしている企業と県外に出て商売をしている企業の従業員1人当たりの売り上げは、県外に出た企業の方が多いという分析結果であり、それは県外の色々な企業と付き合うことによって、今までとは全く違う情報や技術、経営の知恵などと接する機会が多くなることで売り上げの増加に繋がっているのではないかと分析をしている。そのように外と繋がるのが非常に刺激的であり、そして色々な意味で効果をもたらすとのことである。一方、ある経済誌の内容であるが、10年前、A社とB社はほぼ同じ様な業績だったが、現在は時価総額で2倍以上に開いており、この10年間の違いについて、B社は元々自前主義で、自社だけで技術を開発して商品化したり、例えば航空機或いは船舶、エネルギー部門などが縦割り式になってしまい、横道が絶たれてしまったものであり、これに対してA社は共通のソフトを介して、組織が繋がってそれぞれの知恵を出し、或いは技術を持ち合うという文化が組織の中に生まれており、このことがA社が成長しB社が停滞している原因になっている。やはりこれも外部との繋がりによって、業績に大きな差が出ることを立証しているのだろうと思う。警察の組織も同じ様なことが言えるのではないかと考えている。各部がそれぞれのところでしっかりした仕事をすることは大事であるが、更にもう一歩進んでいくためには、そこに横串を刺して、お互いの良いところを出し合いながら、更に発展した組織にしていくことが必要だろうし、更には外部の知識、知恵、情報等、様々なものを取り込み、生かしていくことにも積極的に取り組んでいくことが大事な状況になって

いると考える。これからの岩手県警察のあり方を考える上で参考にさせていただきたい。」旨の発言があった。

## 【警務部議題】

### ○ 警察あて苦情の受理・処理状況について（令和2年12月末現在）

警察本部から、「警察あて苦情の受理・処理状況について、本年12月中の受理は2件であり、12月末現在の受理の累計は37件となる。12月中に受理した2件の内容は、警察官の言動に関するもの及びパトカー等の走行に関するものであり、受理態様は2件とも電話によるものであった。12月中における処理は2件で、12月末現在の処理の累計は35件である。なお、昨年の受理件数は前年と比較して減少しているが、警察官等の言動に関するものの割合が高い状況にあることから、職員に対しては、具体的な事例を踏まえた教養に努めてまいりたい。」旨の報告があった。

#### 《 委員発言 》

「被疑者の取調べにおける苦情については、人によっては最初からクレームを意識して臨んでいることも考えられる。被疑者の様子がおかしいときは特に用心してメモをとったり課長が視認するなど、予防策を考えるべきである。」

→本部発言

「状況に応じて立会人を付けるなどの対応をしている。」

#### 《 委員発言 》

「苦情やクレームの対応について、自分の身に置き換えたときに、やるなと言われるほど、自分を小さく固めてしまう部分がある。幹部が、駄目だと繰り返すだけでは萎縮すると思うので、部下の行動にある程度理解を示した上で、気を付けさせるような指導が大事である。」

### ○ 令和2年度会計監査の実施結果について

警察本部から、「令和2年度会計監査について、岩手県警察会計事務の監査に関する訓令に基づき、予算計上の趣旨に沿って、かつ、正確性、合規性、経済性、効率性及び有効性の観点から実施した。収入事務、支出事務、及び捜査費を重点項目として、全所属に対する監査を実施した結果、殆どの所属は概ね良好に執行されていたが、旅費支給金額等について一部留意改善を要する事項が認められた4所属に対して指摘を行った。また、平成26年3月に本部長通達で示した会計経理に絡む非違事案を防止するための『7つの柱』の推進状況について確認した結果、各所属とも良好に取り組んでいる状況であった。今後も、適正な会計経理の確保に取り組んでまいりたい。」旨の報告があった。

### ○ 令和2年度第3四半期東北管区警察局による監察の結果について

警察本部から、「昨年10月22日と23日の2日間、東北管区警察局による監察を受監した。受監所属は、県民課、警察署等4所属であり、実施結果は、指摘事項として装備品を保管する鍵の不適切な管理についてであり、指導・助言すべき事項として警察安全相談等における犯行ツール対策の改善についてであった。」旨の報告があった。

#### 《 委員質疑 》

「装備品の保管については、これまでも指摘を受けているところなので、重く受け止めていただきたいと思います。また、犯行ツールが判明した場合の対策はどのようなものか。」

→本部発言

「犯行ツールとは、銀行口座や携帯電話、固定電話などであり、相談者から客観的資料を収集し、当日中に被害防止のための対策を講じている。」

《 委員発言 》

「鍵をおろそかにするというのは、組織の緩みと考えられる。重要なものだから鍵をかけているのに、仲間内を信じて面倒を理由にしているのではないか。鍵の取扱いは緊張感を持って対応すべきであり、組織の鍵を締め直すことが大事である。」

## 【生活安全部議題】

### ○ 専決事務処理状況（令和2年10月～12月）について

警察本部から、「昨年10月から12月までの生活安全部関係業務に係る専決事務処理状況について、前年同期比で特に増減の大きい事項を報告する。風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律関係では、風俗営業の変更承認等が前年同期比で減少したが、新型コロナウイルス感染症に伴い遊技機の入替が抑制されたことや、平成30年2月の改正規則施行日前の遊技機が未だ稼働しているため、現行基準適合遊技機の入替に伴う変更承認申請が減少したことが理由として挙げられる。質屋・古物営業法関係では、古物営業の許可等が減少したが、これは平成30年10月に改正古物営業法が一部施行されたことに伴い、昨年3月末までに『主たる営業所等の届出』が義務づけられていたところ、4月以降の届出がなくなったことが原因となっている。火薬類取締法関係では、火薬類の運搬届、狩猟用火薬の譲受及び譲渡許可等が減少しているが、これは、東日本大震災津波等の復興関連工事のピークが過ぎたことにより、業務用火薬の運搬が減少したこと等が要因として挙げられる。」旨の報告があった。

### ○ 通信指令技能検定（初級）の実施結果について

警察本部から、「通信指令技能検定は、『警察通信指令に関する規則』の人材育成等に関する規程に基づき実施している。初級検定の受験資格は、初任補修科終了後1年以上を経過した者であり、昨年10月7日に筆記試験、11月4日から12月18日までの間に実技試験を実施している。筆記試験は、警察無線の通話要領、無線機の取扱方法及び管理、初動警察活動の指揮等から出題しており、実技試験は、筆記試験合格者を対象に、想定に基づく通報受理及び無線指令について実施している。合格率は筆記試験が約58%、実技試験が約97%であり、初級検定の合格者は141名であった。現時点における全警察官の通信指令技能検定の取得率は約62%である。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「通信指令技能は初動警察にとって重要なものであり、警察官にとって基本的スキルの1つであると思うので、全警察官が取得するよう努めていただきたい。」

→本部発言

「委員御指摘のとおりであり、今後とも推進してまいりたい。」

## 【交通部議題】

### ○ 渋民バイパス（一関市大東町）供用に伴う速度規制の実施について

警察本部から、「一関市大東町の渋民バイパス供用に伴う速度規制の見直しについて、公安委員会の御決裁を仰ぎたい。現在整備している渋民バイパスは、本年3月末に供用開始予定であるが、バイパスの起終点がそれぞれ現道との交差点となる。バイパスは法定速度となることから、これまで現道において実施していた最高速度50km/h規制区間を明確にするため、新設される交差点で分割し見直しを図るものである。」旨の説明があり、決裁をした。

### ○ 専決事務処理状況（令和2年10月～12月）について

警察本部から、「令和2年10月から12月までの交通部関係業務に係る専決事務処理状況について、増減が大きいものを説明する。交通企画課関係のうち『緊急自動車・道路維持作業用自動車の指定及び届出』の中の緊急自動車が約7割増加しているが、これは東日本大震災の翌年に国費整備された緊急自動車等の更新のためである。交通規制課関係のうち『道路標識・表示の設置』の中のその他が大幅に増加しているが、これは、自動車専用道路新規供用に各種標識・表示の設置によるものである。交通指導課関係のうち『放置違反金に係る事務』の各項目が減少しているが、これは違反件数がやや減少していることなどが考えられるが明確な理由は判然としない。運転免許課関係のうち『運転免許の交付』の中の二輪・その他が増加しているが、これは一昨年、トラクターの公道走行の規制緩和により大型特殊免許と牽引免許の受験者が増加しているためである。」旨の報告があった。

## 【警察学校議題】

### ○ 初任科第95期長期課程の卒業式について

警察本部から、「1月29日、岩手県警察学校において、初任科第95期長期課程の卒業式を行う。今回卒業する学生は37名であり、卒業後は配置先警察署で職場実習生として勤務し、本年5月に初任補修科生として再度入校する予定である。なお、新型コロナウイルス感染症の現状に鑑み、卒業生、出席者及びマスクを含めソーシャルディスタンスの確保、会場の換気、全員マスク着用、検温を実施し感染症対策に万全を期すこととしている。また、昨年9月に行った卒業式と同様に、例年御出席をいただいている知事をはじめとした来賓及び御家族等の出席は御遠慮いただくこととしている。」旨の報告があった。

## ■個別会議

### ○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁  
審査基準等の一部改正についての説明、決裁

### ○ 警察学校

初任科第95期長期課程卒業式における委員長の対応についての説明、決裁

### ○ 警務課

多言語電話通訳サービスの導入についての報告

○ **生活環境課**

生活環境課業務報告

○ **総務課**

公安委員会あて文書の受理・処理の説明、決裁